

エンジン停止直後の機械にさわるべからず

エンジン停止直後の機械は部位によって高温になっており、火傷をする危険性がありますので各部の温度が十分下がってから点検、整備を行ってください。

注意

1. エンジン各部や、マフラーなどは、高温ですので冷えるのを待ってから点検、整備を行うようにしてください。
2. 高温時にラジエータキャップを開けると高温の冷却水が噴き出して火傷をする危険性がありますので十分注意してください。

